

● 日本及びその周辺での主な地震活動

2025 07 01 00:00 -- 2025 07 31 24:00

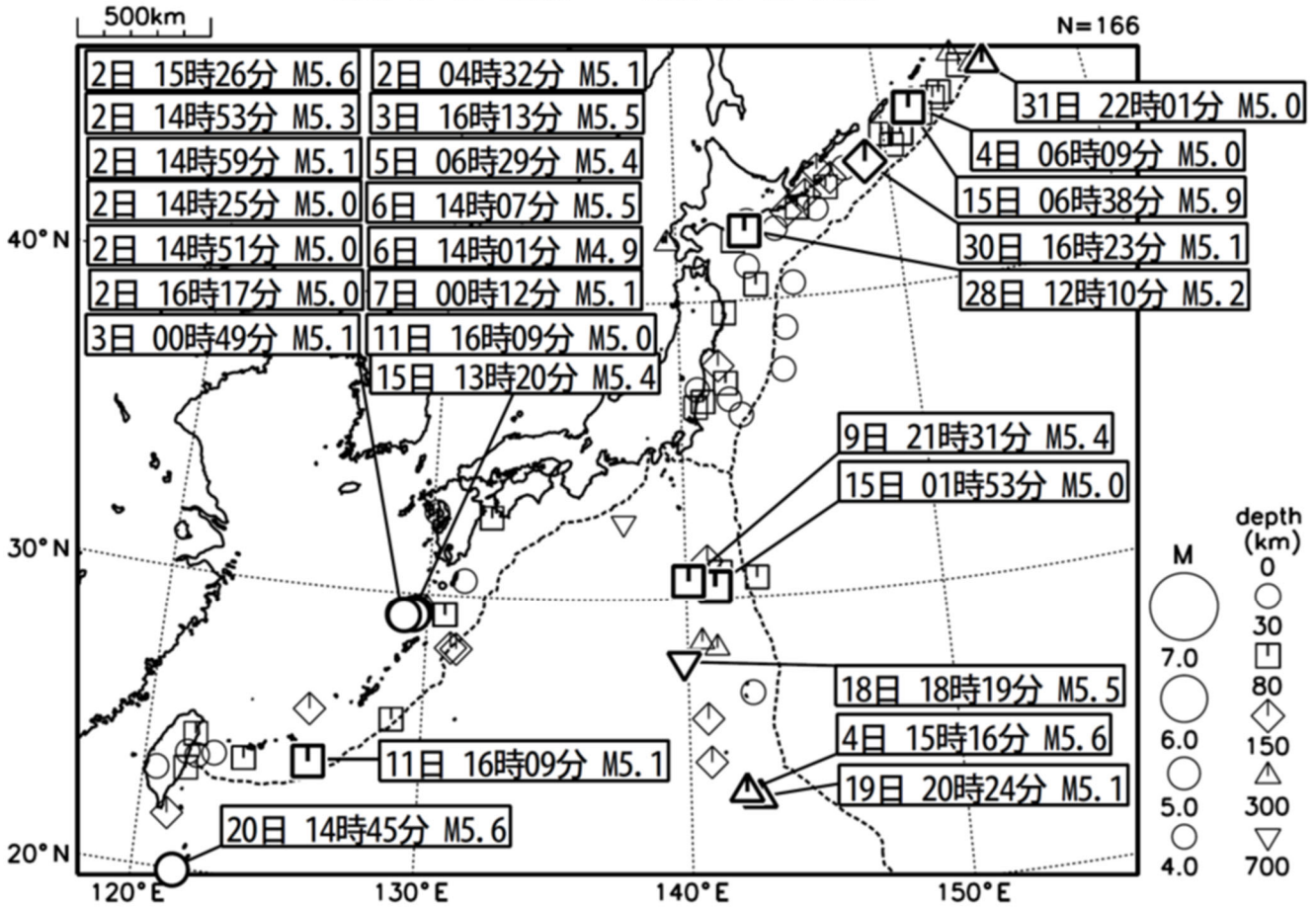


図1 令和7年7月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。)

7月3日16時13分にトカラ列島近海でM5.5の地震が発生し、鹿児島県十島村（悪石島）で震度6弱を観測したほか、中之島から徳之島にかけて震度3から1を観測した。トカラ列島近海（小宝島付近）では、2025年6月21日05時頃から地震活動が活発となり、7月31日までに震度1以上を観測した地震が2238回（震度6弱：1回、震度5強：3回、震度5弱：4回、震度4：51回、震度3：151回、震度2：555回、震度1：1473回）<sup>(注1)</sup>発生した。

(図の範囲外)

7月30日08時24分（日本時間）にロシア、カムチャツカ半島東方沖の深さ35kmでMw8.8（Mwは気象庁による）の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度2）が発生した<sup>(注2)</sup>。この地震により、岩手県の久慈港<sup>(注3)</sup>で最大141cmの津波を観測するなど、太平洋沿岸を中心に北海道から沖縄県にかけて広い範囲で津波を観測した。また、海外においても、ロシアのヴォドパドナヤで5mなどの津波を観測した。

令和7年（2025年）7月に日本国内で震度4以上を観測した地震は51回（6月は14回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は166回（6月は128回）であった（図1）。

7月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。7月中に震度5弱以上を観測した地震は7回、津波を観測した地震は1回（6月は震度5弱以上観測した地震は1回、津波を観測した地震はなかった）。

(注1) 震度1以上を観測した地震の回数は後日の調査で変更する場合がある。

(注2) 震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2025年8月6日現在）。ただし、2025年7月30日08時24分の地震のMwは気象庁による。海外の津波の高さは米国海洋大気庁（NOAA）による（2025年10月1日現在）。

(注3) 国土交通省港湾局の観測施設

令和7年7月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和7年7月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6）	掲載 ページ
1	7 3 16 13	トカラ列島近海	5.5	5.5	・ ・ S ・	6弱：鹿児島県 十島村悪石島* トカラ列島近海（小宝島付近）では、 6月21日から7月31日までに震度1以上を 観測した地震が2,238回（注7）（震度6弱：1回、震度5強：3回、震度5弱：4回、震度4：51回、震度3：151回、震度2：555回、震度1：1473回）発生した。このうち最大規模の地震は2日15時26分に発生したM5.6の地震（最大震度5弱）である。 緊急地震速報（警報）を発表（7月2日15時26分及び7月6日14時07分の地震に対して発表）	55～70
2	7 15 23 47	茨城県北部	4.9	4.9	・ ・ S ・	4：茨城県 笠間市石井* 栃木県 市貝町市埜*	4、12
3	7 25 11 17	長崎県南西部	4.8	-	・ ・ S ・	4：長崎県 諫早市東小路町 雲仙市小浜町雲仙 など1県8地点	4、18
4	7 28 12 10	十勝地方南部	5.2	5.3	・ ・ S ・	4：北海道 浦河町潮見 浦河町築地* 更別村更別*	4、6
5		「令和6年能登半島地震」の地震活動			・ ・ ・ ・	「令和6年能登半島地震」の地震活動 7月中に震度1以上を観測した地震が6回（震度1：6回）	10、11
6		トカラ列島近海の地震活動（諏訪之瀬島付近）			・ ・ ・ ・	7月8日からのトカラ列島近海の地震活動（諏訪之瀬島付近） 7月8日から31日までに震度1以上を 観測した地震が33回（震度3：6回、震度2：6回、震度1：21回）発生した。	16、17

- (注1) 主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸M4.5以上かつ震度3、④海域M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。ただし、トカラ列島近海（小宝島付近）の地震活動については、最大震度6弱以上を観測した地震のみ記載した。
- (注2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- (注3) 空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- (注4) Mw欄の「-」はMwが求められていないことを示す。
- (注5) MHS Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- (注6) 最大震度の観測点名にある\*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。
- (注7) 掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合がある。

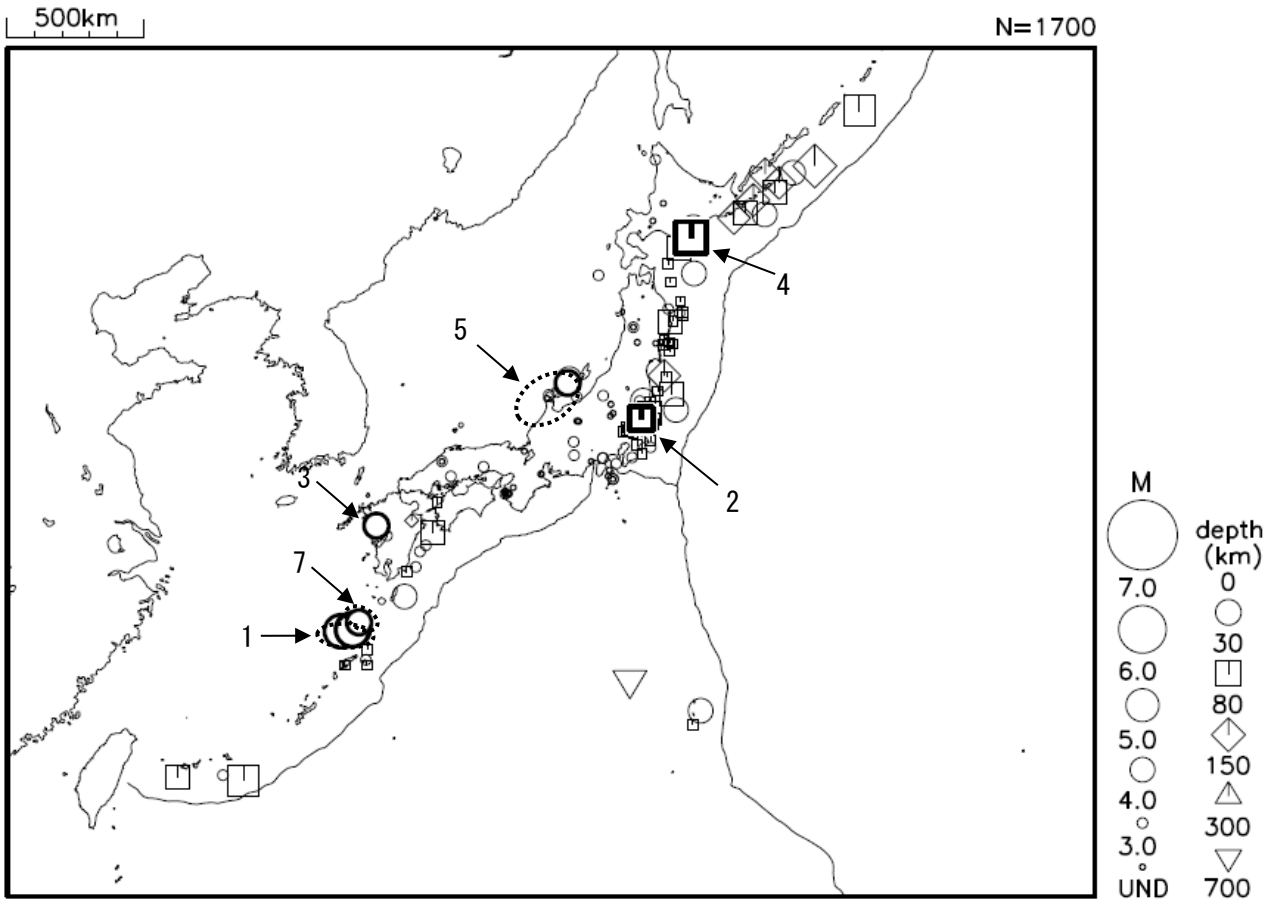


図2 令和7年7月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

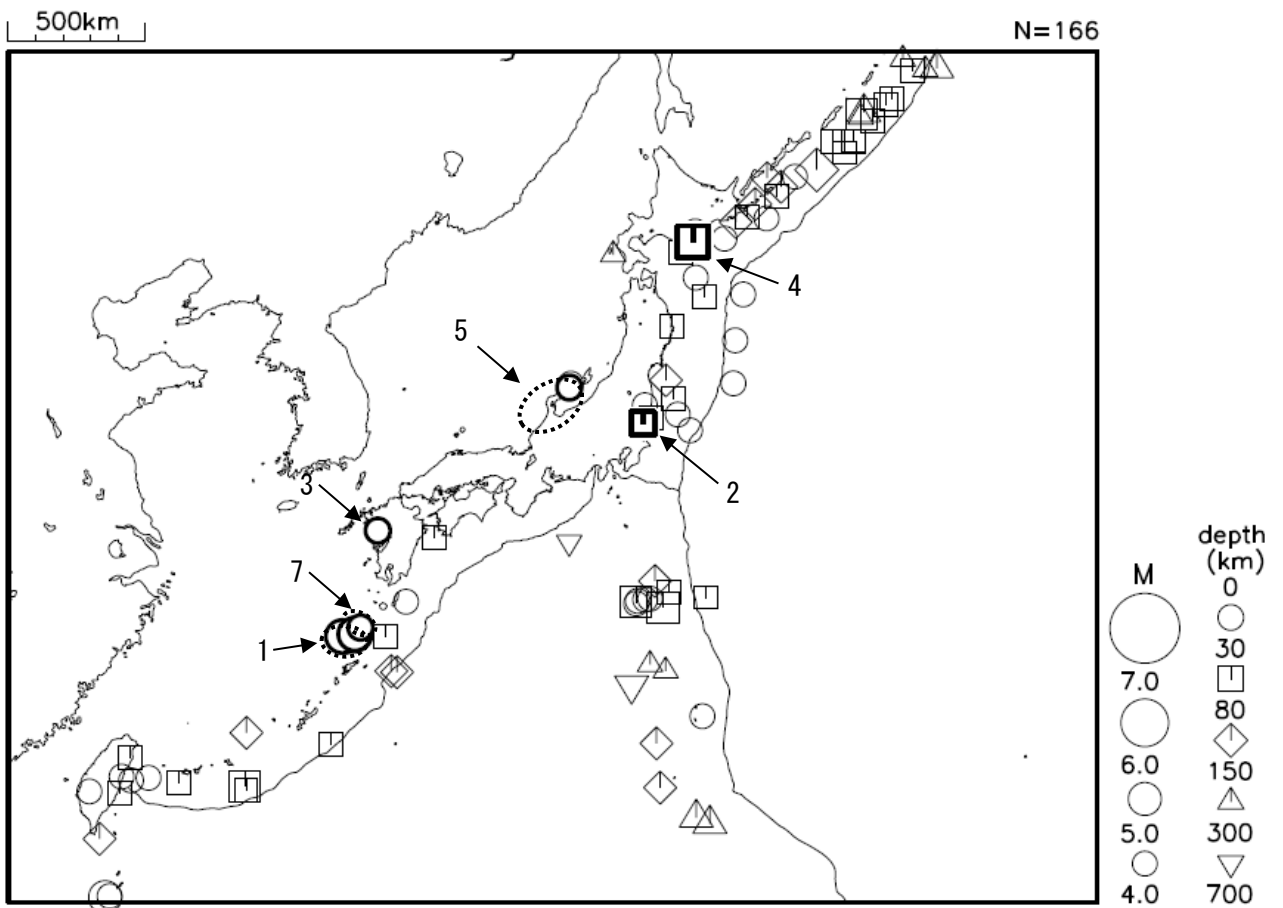


図3 令和7年7月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）